

令和5年度 第3回八戸市体育施設整備検討委員会 議事録

○日時

令和6年1月5日（金） 14時00分～14時40分

○場所

八戸市庁別館2階 会議室C

○出席委員

宮腰直幸会長、米内正明副会長、阿部寿一委員、荒木興一委員、木村浩哉委員
鷹野貴子委員、東山国男委員、向井俊晴委員

○事務局

前田観光文化スポーツ部長、石丸観光文化スポーツ部次長兼スポーツ振興課長
岩舘スポーツ振興課主幹（スポーツ振興グループリーダー）、田中スポーツ振興課主幹

次 第

1 開会

2 会長挨拶

3 審議

八戸市体育館の建て替えに関する基本計画（案）について

4 その他

5 閉 会

次第 1 開会

司 会 本日は、ご多用のところ、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。
本日司会を務めます、観光文化スポーツ部スポーツ振興課の岩舘です。よろしく
お願いいたします。それでは、只今より、令和5年度 第3回八戸市体育施
設整備検討委員会を開催いたします。まず、会議の成立を確認いたします。八
戸市体育施設整備検討委員会規則第5条第2項の規定により、半数以上の委
員の出席が会議成立の要件でございますが、本日は、蝦名委員が遅れておりま
すが、10名のうち8名の委員に御出席をいただいておりますので、会議が成

立することを報告申し上げます。なお、本日の傍聴者は2名ですであわせて報告申し上げます。本日傍聴される方へお知らせいたします。当委員会におきましては、傍聴人の発言はできませんのでよろしくお願いいたします。なお、本日も株式会社日本総合研究所が同席しております。つぎに、資料の確認をいたします。本日の資料は、次第、出席者名簿、席図、八戸市体育施設整備検討委員会規則、パブリックコメントについて、競技団体からの意見について、八戸市体育館の建て替えに関する基本計画案でございます。資料の漏れなどはございませんでしょうか。

次第 2 会長挨拶

司 会 それでははじめに宮腰会長からご挨拶いただきたいと存じます。宮腰会長
お願いいたします。

会 長 皆様あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします
します。いま、お話にありましたとおり、今回はパブリックコメント、競技団
体からの意見が出ておりますので、本日の会議はそのあたりを参考にしながら
進めることになろうかと思います。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

次第 3 審 議

司 会 ありがとうございます。それでは、議事に入ります。宮腰会長よろしくお願
いいたします。

会 長 それでは、資料について事務局から説明願います。

事務局 それでは、資料につきまして、私からご説明いたします。

最初に、パブリックコメントについての資料をご覧願います。実施期間は、
令和5年11月21日から12月22日、寄せられた意見数は6人、6件でござ
います。まず、1件目でございますが、時間の関係上要点のみご説明いたしま
す。1移住者を増やす、の7行目、年間ランニングコストだけで考えると4千
8百万円位プールはコストが掛かるので作らず、体育館の観客席の後ろのス
ペースか、体育館の周りを利用した高低差が有る屋内ウォーキングスペース
を作ると良いです。天候に左右されない継続した運動習慣が可能になります。
続いて、その下の2になります。公式戦が出来る施設にして、国内外の方々を
八戸市に呼び観光地としてアピールする。柔道場、剣道場、バスケットの出来
るスペースは、公式戦の出来る施設にして、国内外の人を招致する。以上が1
件目の要点でございます。

次に、2件目でございますが、2ページをご覧願います。(2)の8行目に

なります。新体育館は旧体育館よりも大きくなると聞いております。かねてより心配だったのはもしかして市民プールがあった場所にドーンと建設されるのではないかと心配しておりました。もしそれであれば今までの長根公園の景観が損なわれてしまうのではないかと心配していたのです。11月21日のデーリー東北新聞に建設計画が掲載されました。建設場所は元体育館があった場所の隣に建設されるようです。安堵いたしました。私の希望は元体育館を解体してその場所に建てるのが一番いいと考えていました。しかしそれは叶わないと聞いておりましたのでせめて元体育館のあたりに建ててもらいたいと言うのが私の希望でした。その希望通りの場所でほっといたしました。次のページの別添付用紙の①が建設予定地です。③は駐車場になるらしいです。そして私の希望ですが②に是非緑を作ってほしいと思います。以上が2件目の要点でございます。

次に、3件目でございます。(3)の1行目、現在の計画案によると、プールは25mプール8レーンのみとなっています。確かに競技団体の意見や学校のプール授業に使用するというのであればこれで十分かもしれません。しかし、私は子どもや若者、家族が楽しめるプールを作るべきだと思います。八戸市には子どもが遊べる施設が圧倒的に不足しています。その中で子供たちが思いっきり遊べる現在の長根のプールは貴重な存在です。これからはいかに子育てに適した街であるかが問われています。せっかく新しく作るのであれば、流れるプールやウォータースライダーなどが設置されている家族連れやデートなどでも利用が見込まれるような、市民が楽しめる施設を作ってほしいのです。次に、4ページをご覧ください。2行目でございますが、また、プールの外、北側の敷地は駐車場になるようですが、それはもったいない使い方だと思います。その場所に夏は巨大なエア遊具を設置し、巨大なウォータースライダー等を設置し、八戸市に最も足りていないアミューズメント施設として整備できれば素敵です。そしてもう一つはLGBTQ+に配慮した設計を取り入れることです。これから作るものはこれを意識しなくては作った瞬間に前時代のものになってしまいます。具体的には「オールジェンダートイレ」と「オールジェンダー更衣室」です。男性用と女性用の他、誰でも利用できるオールジェンダートイレを設置する必要があります。個室化され、男性用と女性用の間に設けることが良いのではないのでしょうか。続きまして、下から9行目になります。近年八戸市は多くの施設を作ってきたと思いますが、市民の本当に求めているものと少しずれているのではないかと感じています。競技団体やプロスポーツ、芸術家、有識者の意見は重要です。ですが実際に利用する多くの方は普通の一般の市民であり、そこに求められるのは自分たちが楽しめるかどうかではないのでしょうか。以上が3件目の要点でございます。

5 ページをご覧ください。(4) はデシカント空調設備導入のご提案でございます。

6 ページをご覧ください。(5) は4 行目、湿気対策はしているかというものになります。

つづきまして、(6) は5 行目、環境省の「自然共生サイト」、生物多様性の保全が図られている区域のことでございますが、の認証制度を目指していただきたい。というものでございます。

続きまして、競技団体からの意見についてですが、資料をご覧ください。

まず、ゲートボール協会でございますが、夜間、冬期間及び悪天候等の屋外でゲートボールが出来ない期間に、ゲートボール専用ではなくても良いので、利用可能な施設がほしい。との意見でございますが、Y S アリーナ八戸の中地の利用について検討してほしい旨提案し、現在、ゲートボール協会にて検討中でございます。

次に、体操協会でございます。バスケットボールコート2 面分のメインアリーナがあれば、東北大会、全国大会を開催する場合でも、ウォーミングアップ会場を兼ねた競技会場を設置することが可能。メインアリーナは体操の器具の設置場所を想定して進めていただきたい。サブアリーナには器具の設置は不要。器具庫内に体操器具1 式を収納する広さ、400 m²を確保することを希望。観客席の規模は計画案で問題ない。全国大会観客数は1,000 人未満。更衣室については、多くは宿舎で着替えてきているので、広いスペースは不要。現武道館について、柔道場・剣道場を体操のために利用できるようなれば体操教室等に利用したい。以上が、体操協会からのご意見でございます。

次に、ソフトテニス協会でございます。基本計画案は、昨年度、基本構想策定の際に要望した内容が、概ね網羅されている。1 日でも早く実現できることを望む。以上が、ソフトテニス協会からのご意見でございます。

2 ページをご覧ください。バスケットボール協会でございます。メインアリーナの横幅が 64mだと狭い。隣接するコートの間隔が5 mとなっているが、それぞれ2 mの規定スペースをとると、オフィシャルズテーブル、チームベンチの幅が1 mしかとれず、試合に支障がある。コートの間隔は7 mほしい。トイレは2 階に審判用、選手用、観客用の3 箇所ほしい。2 階更衣室は4 チーム分4 箇所ほしい。できればシャワー付きが良い。その他として、多目的室はメインアリーナ中央に配置した方が大会運営に利用しやすい。選手、審判、観客が交錯しないように動線を検討してほしい。2 階器具庫への外からの搬入口と搬入のしかたを検討した方が良い。以上がバスケットボール協会からのご意見でございます。

次に、水泳協会でございます。観覧席は、プール内には不要だが、プールの

外にガラス張りの観覧スペース 2～3 列、1 人掛け座席ではなく階段状でも可を希望する。大会時、観客 200 人程度の来場は想定されるが、広さは設置可能な範囲で良い。子ども用プールについて、小さい子どもや大会時のアップ用として、水深 50cm 程度の浅いプールが、小さくても良いのであった方がよい。長さは 15m～20m、3 レーン程度のサイズ、脱着式スロープ付き。以上が水泳協会からのご意見でございます。

次に卓球協会でございます、3 ページに渡りますが、メインアリーナの広さは、大会を開催する場合でも十分である。また、サブアリーナのみでも開催できる大会があるため、メインアリーナで他競技を行っている場合でも、防音、振動等の面で支障がなくサブアリーナを利用できるようにしてほしい。防球ネットの吊り下げワイヤーが低いと競技に支障となるため、高さに留意してほしい。観客席最前列の転落防止柵は十分な高さでアリーナの見やすさ（透明な柵等）に配慮してほしい。多目的スタジオには卓球台の常設を希望する。アリーナ隣接の多目的室はガラス張りで競技状況が見える方がよい。更衣室、シャワー室があれば利用する。シャワーは 1 階のみでも問題ない。空調・換気設備については、湿度が高いと競技に影響するため留意してほしい。以上が卓球協会からのご意見でございます。

次にバレーボール協会でございます。アリーナの広さについては、大会及び V リーグの開催を考えても問題はなく、選手と観客の動線分離だけ留意して進めてほしい。コートを 4 面設置できる体育館が出来れば、大会運営の面においても非常に楽になるので、楽しみにしている。以上がバレーボール協会からのご意見でございます。

次に柔道協会でございます。柔道場は、安全性の観点から弾力性のある床が必要不可欠であるため、スプリングを設置してほしい。試合場外枠全体に 2～3 m の板の間を設置してほしい。通常時・大会開催時に、掲示板・タイマー設置・監督及び選手の整列スペースに必要なため。2 階アリーナの器具庫には大会用の柔道畳の台車を設置してほしい。現武道館と同程度、12 畳程度の師範室を設置してほしい。柔道衣の着替えのため、柔道場専用の更衣室を設置してほしい。夏季は熱中症、冬季の寒冷環境は怪我のリスクが高まるため冷暖房設備を設置してほしい。以上が柔道協会からのご意見でございます。

次に、空手道連盟でございます、4 ページにわたりますが、新体育館には、柔道場、剣道場の設置はあるが、空手場が含まれていないため、新体育館に板張り床の上に空手用マットを常設できる空手場の設置を希望。メインアリーナの床に敷いて使用する空手用マット 6 面分を適切に保管できる場所の確保を希望。現武道館では、夏の夜間に 35 度、冬は厳冬の中での稽古となり、新体育館の使用が空手愛好者の健康や競技力向上にとって大変有意義であると

考えるが、空手場の設置が難しい場合は、第一道場、第二道場とするなど、名称を変更し、柔道や剣道と共用としてほしい。または、武道館を改修し、空調設備・気密性を高め、新体育館と同程度に健康的に武道を行える空手場の設置を希望。以上が空手道連盟からのご意見でございます。

続きまして、八戸市体育館の建て替えに関する基本計画案につきまして、前回までの当委員会におけるご審議、そして、パブリックコメント、競技団体からのご意見を踏まえ、前回の委員会から変更した部分を中心にご説明いたします。資料の19ページをご覧ください。まず、柔道場と剣道場の記載ですが、武道場の中の柔道場と剣道場という記載に変更してございます。続きまして、20ページをご覧ください。(6) プールの①のプールの概要でありますが、1行目のまた以下、水深の浅い子供用プールの整備、並びにという記載を追記し、学校体育等の授業の場としての活用を考慮し、プールフロアの利用等の水深の調整方法についても検討しますと変更いたしました。続きまして、(8) の多目的スタジオですが、卓球、ダンス等のスポーツや会議に利用できる多目的スタジオの整備を想定しますと変更いたしました。続きまして、21ページをご覧ください。(10) の会議室ですが、それぞれの会議室について、スポーツ等の利用も可能となるようフロアの仕様について検討しますと変更いたしました。続きまして、22ページをご覧ください。フロアプラン案でありますが、まず、2階の更衣室の位置を変更し、また、トイレを3か所に配置してございます。次に、1階ですが、武道場の柔道場と剣道場それぞれに更衣室と師範室を配置するとともに、プールに観覧スペースと子ども用プール、そして、キッズスペースを配置してございます。続きまして、24ページをご覧ください。こちらが断面図でございます。続きまして、30ページをご覧ください。こちらは、パースでございまして、1は現在の体育館側からみたもの、2はその反対側からみたものでございます。新しくできる体育館ですが、2のパースのとおり、長根屋内スケート場と高さがだいたい同じくらいになります。続きまして、32ページをご覧ください。ここからは事業手法案でございます。市が自ら建て替え等を行う従来手法のほか、民間の創意工夫等を活用したPPP/PFI手法の導入について検討することとしており、主なものとしては、DB+O方式、DBO方式、PFI-BTO方式があり、PFI-BTO方式は資金調達方法によって、起債型と割賦型に分かれます。まず、(1) の従来手法でありますが、市が、設計業務、建設業務、維持管理業務、運営業務を分割発注する手法でございまして、スキームのイメージは、図のとおりでございます。次に、(2) DB+O方式でありますが、施設の整備に関する業務と維持管理・運営に関する業務を、それぞれ別に包括的に民間に委ねる手法でございまして、スキームのイメージは、33ページの図のとおりでござい

ます。次に、(3)のDBO方式でございますが、施設整備段階の業務と、運営・維持管理に関する業務を、民間に包括的に委ねる手法であり、事業者選定段階から、設計企業・建設企業と維持管理・運営企業が一体となっているため、運営に関する事業者の意見を設計段階から反映しやすいという特徴がございまして、スキームのイメージは、図のとおりでございます。続きまして34ページを御覧願います。(4)のPFI-BTO方式でございますが、設計業務、建設業務、運営・維持管理業務を、PFI法に則り、民間に包括的に委ねる手法であり、市はPFI法に基づくプロセスで、施設整備に関する企業と維持管理・運営を担う企業によって組成された企業体を選定し、選定された事業者が組成したSPCとPFI法に基づく事業契約を締結するものであり、施設整備段階から維持管理企業や運営企業の意見が反映されやすいという特徴がある一方、複数の企業から組成されるSPCの管理運営には、プロジェクト管理能力や資金管理等のノウハウが求められ、また、資金調達については、SPCが行う場合と市が行う場合が考えられ、SPCが資金調達を行う場合、市は財政負担の平準化を見込むことができるものの、その費用には、SPCが金融機関から資金を調達するために要した支払利息等が含まれていることに留意する必要がありますがございまして、スキームのイメージは図のとおり、左側が、割賦払い型、右側が一括払い型でございます。35ページを御覧願います。参考までに、財政負担の平準化のイメージでございます。資料の説明につきましては、以上でございます。

会 長 はい、ありがとうございます。いま、御説明がありましたが、パブリックコメントの中に質問のような形の記載がありました。(5)ですね。湿気対策はされていますでしょうか。については事務局で回答いただけますでしょうか。

事務局 はい。湿気対策については当然、実施する想定でございます。

会 長 ありがとうございます。では、皆様から御意見をいただきたいと思いますが、建て替えに関する基本計画案の19ページから御説明がありましたので、このあたりのところ、18ページの基本構想に基づくフロアプランの考え方のあたりから話に入りたいと思います。まずは19ページより前の部分で御意見等ございますか。よろしいでしょうか。(特に意見なし)では、19ページの武道場の名称についてですね、競技団体からの御意見にもありましたが、この部分について何かご意見ございますか。競技団体は空手道連盟からの御意見でしょうか。

事務局 はい、こちらについては、今は柔道場、剣道場としておりますけれども、全国の武道場について、今、名称を調べておりまして、柔道場、剣道場がある一方、第1武道場、第2武道場という名称にしている所もあるということで、引き続き検討し適切な表現について探っていききたいと思います。

会 長 はい。ありがとうございます。皆様よろしいでしょうか。そうしましたら、次の20ページ、水深の浅い子ども用プールの整備が加えられたということで、これは、水泳協会とパブリックコメントの御意見にもありましたが、何かこのあたりで御意見ございますか。(特に意見なし) はい、そうしましたら、多目的スタジオのところですか。多目的スタジオの概要の中で、卓球、ダンス等や会議に利用できる、のところに「等スポーツ」が追記されました。これに関しては何かございますか。(特に意見なし) はい、そうしましたら、次は21ページになります。会議室ですが、ここもスポーツ等の利用も可能になるということで、ここに関しては何かございますか。(特に意見なし) はい、そうしましたら、22ページになります。フロアプラン案のところですか。いままでのコメントですとか、競技団体からの意見等により一部変更になったところがありますが、このあたりに関して何かご意見ございますか。

委 員 はい。バスケットボール協会からの御意見の中でコート間5mでは狭いとなっているがレイアウト例では7mになっている。このご意見を踏まえて7mにしたのか。

事務局 はい、今のところはできるだけ希望に沿うように作図をしています。ですが、今後は建設コストや利用率なども踏まえ、引き続き、広さについては検討していきたいと思います。現状、マエダアリーナサイズだと5mなのですね。それでも実際、大会は運営しているのですが、確かに新しくできている体育館はバスケットボール協会がおっしゃるとおりの規格にしている。ただ、大会以外の利用のしかたなどを踏まえて、この件については引き続き検討していきたいと考えてございます。

委 員 はい、わかりました。バスケットボールのラインが基準になってバレーボールコートの間隔とか決まってくると思いますので、他の体育館等の施工例を参考にしながら、要望も入れながら検討していただければ良いかと思います。

事務局 はい、承知いたしました。

会 長 はい、いまレイアウトの話が出ましたが、23 ページのレイアウト例に関して何かご意見等ございますか。ほか、よろしいでしょうか。（特に意見なし）では、24 ページに新しく断面図が出てきましたが、こちらに関して何かございますか。おそらくこれと 30 ページの参考のパースを併せて見ていただくのが良いのかなと思います。建物のボリュームのことに関して何かご意見ございますか。（特に意見なし）そうしましたら、32 ページのところ、事業手法案ということで、何かご意見ございますか。

委 員 はい、パブリックコメントに事業手法案について意見は全くなかったが、パブリックコメントの段階では、事業手法案は提示していないのですよね。

事務局 そうです。基本構想の中に事業手法は示していますが、今回の基本計画では、示していなかったのです。

委 員 パブリックコメントがいろいろ出ていますが、それをもらってからもう一度つくり直したのか、そうではなくて、今日はパブリックコメントこんながありましたよというのが示されたという理解でよろしいでしょうか。

事務局 はい、今回はパブリックコメントとスポーツ競技団体からのご意見を踏まえて、事業手法の前までについて整理したということです。

委 員 少し直した状態だと。

事務局 はい。それで、事業手法については、現在、施設の利用率、収支等について計算している段階ですので、また、この先ですけれども、委員会の中では、この事業手法案の説明で終えて、あとは市内部で計算して行って、しかるべき時期に手法について選定することにしてございます。

委 員 はい、分かりました。事業手法についてコメントを求められても、一般の方々も答えられないと思いますし、おそらく委員の方々も。たぶん、収支とか、財政的なお話だと思うので、市の方でどういうスタンスで行くのか、そのうち示されるということで理解しました。参考までにパブリックコメントをいただいた 6 人の方はどのくらいの年齢層の方が意見されているのか。年代によって、意見がいろいろあるのかと。

事務局 年齢を記載する欄を設けていないので不明でございます。

委員 分かりました。

会長 はい、そうしましたら、事業手法案についてはここまでにして、全体で何かありましたらお願いいたします。

委員 パブリックコメントの4ページにある、オールジェンダートイレと更衣室は、今後検討されていくのでしょうか。

事務局 はい、お見込みのとおり、今後検討していく予定でございます。

委員 はい、よろしくお願いいたします。Y Sアリーナ八戸を多く利用させていただいておりますが、4年経って初めて男性トイレを見学しました。そしたら、個室になっていないのですね。新しい施設なので男性トイレも全部個室かと思っていたら、仕切りがないのですね。男性トイレも全部個室で今の社会情勢に見合うのかなという感じがしましたので、どうか検討をお願いいたします。

事務局 はい、ありがとうございます。

委員 はい。パブリックコメント（2）、2ページの下の方、単語だけ言うと、道路脇、桜並木、遊歩道、ベンチ等の言葉が出てきます。以前、この会議の中でも長根公園の周りの水路に蓋をして、遊歩道にできないものかという意見があったのですが、法律上の問題で不可というのがあったかと思いますが、クリアできないものか。例えば、田面木の堤も昔は広がったが、歩道が張り出してきてその上を通行できるようになっているので、何かしらの強度等をクリアすると、水路の管理がどこかという問題もあるかと思いますが、その辺りの検討はいかがなものでしょうか。

事務局 はい、今の件ですね、河川管理者が青森県でございまして、法律というか運用上の問題だと理解していて、一度、長根公園の周りは市と県の話し合いにより整理したということであのような形になってございます。ただ、また新たに整備する場合には管理者の県と再度、こういう声があるということについては、お知らせしたいと思います。

委 員 はい、ありがとうございます。

会 長 はい、ほか、ありますか。

委 員 はい。いま、非常に災害等もあり、正月、落ち着かない想いでいるわけですが、1階の動線、避難経路の検討にはまだ入っていないでしょうか。

事務局 はい、まだ検討段階ですが、そもそもこの体育館は津波浸水想定の高さが1 m未満でございまして、1 m程度、土を盛れないか検討しております。それで、津波浸水想定エリアですので、何かあった際には、水平避難、図のとおり、想定だとY Sアリーナ八戸まで逃げると、そこには津波が来ないという想定になっておりますので、まずは水平避難ですね。それが出来ない場合には、垂直避難ということになりますが、体育館内の動線については今後の検討となります。

委 員 はい、ありがとうございます。

会 長 ほか、ありますか。(意見なし)

次第 4 その他

会 長 よろしいでしょうか。はい、では皆様ご意見ありがとうございます。ただいまの意見につきましては、次回委員会に向けて、事務局に整理をお願いしたいと思います。よろしければ、本日はここまでにしたいと思います。では進行を事務局の方にお返しいたします。

次第 6 閉会

司 会 ありがとうございました。次回の会議ですが、1月19日金曜日午後1時30分から市庁本館4階会議室Aを予定しております。隣の建物ですのでお間違いの無いよう、よろしくお願いいたします。なお、1月19日は、午後4時から市長室におきまして、八戸市体育館の建て替えに関する基本計画案に対する委員会の答申を予定しております。宮腰会長及び米内副会長におかれましては、よろしくご対応願います。以上をもちまして、第3回八戸市体育施設整備検討委員会を終了いたします。長時間にわたり、ありがとうございました。